

令和 6 年度

決算概要

第 7 期

公立大学法人 公立小松大学

(目 次)

1	貸借対照表の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
2	損益計算書の概要	・ ・ ・ ・ ・	3
	主要経費の年度推移	・ ・ ・ ・ ・	5
3	キャッシュ・フロー計算書の概要	・ ・ ・ ・ ・	6
4	決算報告書の概要	・ ・ ・ ・ ・	7

1 貸借対照表の概要

貸借対照表は、決算日（3月31日時点）における全ての資産、負債及び純資産を記載した本学の財政状況を表すものです。

貸借対照表では、右側（貸方）で元手資金をどのような方法で集めているか（資金の調達方法）を示し、左側（借方）でどのような形で運用しているか（資金の運用形態）を示しています。

					(単位：千円)			
				令和6年度	令和5年度	前年度比		
資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	335,790	335,790	0		
			建物	2,222,193	2,315,987	△ 93,794		
			構築物	16,641	18,355	△ 1,714		
			機械装置	15,602	17,021	△ 1,419		
			工具器具備品	315,144	266,117	49,027		
			図書	237,557	232,195	5,362		
			美術品・収蔵品	14,659	13,384	1,275		
			船舶	1,084	1,622	△ 538		
			車両運搬具	7,706	8,593	△ 887		
			有形固定資産合計	3,166,376	3,209,064	△ 42,688		
		無形固定資産	ソフトウェア	17,833	28,400	△ 10,567		
			その他の無形固定資産	15	15	0		
			無形固定資産合計	17,848	28,415	△ 10,567		
	投資その他の資産			350,044	50,050	299,994		
	固定資産合計①			3,534,268	3,287,529	246,739		
	流動資産	現金及び預金	1,238,854	1,230,842	8,012			
		未収金	11,036	14,592	△ 3,556			
		その他	18,279	18,049	230			
		流動資産合計②	1,268,169	1,263,483	4,686			
		資産合計（①＋②）			4,802,437	4,551,012	251,425	

負債の部	固定負債	長期寄附金債務	537,537	534,873	2,664	
		退職給付引当金	172,963	125,772	47,191	
		長期リース債務	394,252	362,341	31,911	
		固定負債合計	1,104,752	1,022,986	81,766	
	流動負債	寄附金債務	9,195	10,714	△ 1,519	
		前受受託研究費等	10,806	14,470	△ 3,664	
		未払金	119,554	121,885	△ 2,331	
		預り金	16,328	19,559	△ 3,231	
		リース債務	52,239	39,749	12,490	
		その他	34,549	56,868	△ 22,319	
		流動負債合計	242,671	263,245	△ 20,574	
	負債合計③		1,347,423	1,286,231	61,192	
	純資産の部	資本金	1,956,640	1,956,640	0	
		資本剰余金	△ 106,718	△ 32,836	△ 73,882	
		利益剰余金	1,605,092	1,340,977	264,115	
		(前中期目標期間繰越積立金)	1,340,977	184,475	1,156,502	
		(うち当期総利益)	264,115	1,156,502	△ 892,387	
純資産合計④		3,455,014	3,264,781	190,233		
負債純資産合計（③＋④）		4,802,437	4,551,012	251,425		

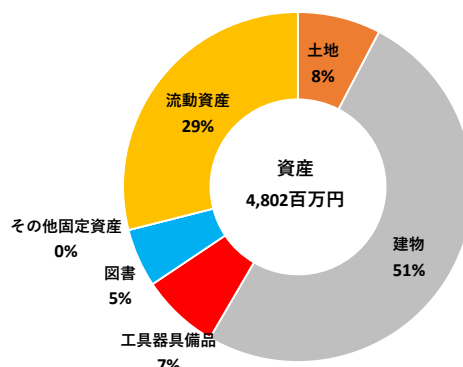
（単位：千円）

単位：千円

		令和6年度	令和5年度	前年度比	
負債の部	固定負債	長期寄附金債務	537,537	534,873	2,664
		退職給付引当金	172,963	125,772	47,191
		長期リース債務	394,252	362,341	31,911
		固定負債合計	1,104,752	1,022,986	81,766
	流動負債	寄附金債務	9,195	10,714	△ 1,519
		前受受託研究費等	10,806	14,470	△ 3,664
		未払金	119,554	121,885	△ 2,331
		預り金	16,328	19,559	△ 3,231
		リース債務	52,239	39,749	12,490
		その他	34,549	56,868	△ 22,319
		流動負債合計	242,671	263,245	△ 20,574
		負債合計③	1,347,423	1,286,231	61,192
	純資産の部	資本金	1,956,640	1,956,640	0
資本剰余金		△ 106,718	△ 32,836	△ 73,882	
利益剰余金		1,605,092	1,340,977	264,115	
（前中期目標期間繰越積立金）		1,340,977	184,475	1,156,502	
（うち当期総利益）		264,115	1,156,502	△ 892,387	
純資産合計④		3,455,014	3,264,781	190,233	
負債純資産合計（③＋④）		4,802,437	4,551,012	251,425	

資産の状況（R7.3.31）

資産（約48.0億円）は、右図のように、建物が51%と最も多く、以下、流動資産（29%）、土地（8%）、工具器具備品（7%）、図書（5%）等となっています。



① 資産の部《48億円（対前年度＋2億5,100万円）》

固定資産合計 35億3,400万円（対前年度＋2億4,700万円）

【主な特徴】

- ・国債・石川県債・宮城県債(各1億円)の取得（投資その他の資産 増）
- ・研究備品の取得、栗津キャンパス食堂調理器具の更新（工具器具備品 増）
- ・情報処理環境設備一式の新規リース分（工具器具備品 増）

流動資産合計 12億6,800万円（対前年度＋500万円）

【主な特徴】

- ・学生数増による運営費交付金、学生等納付金の増加、外部資金の増加による直接経費、間接経費、雑益の増加（現金及び預金 増）

② 負債の部《13億4,700万円（対前年度＋6,100万円）》

固定負債合計 11億500万円（対前年度＋8,200万円）

【主な特徴】

- ・退職給付引当金の積み増しによる増加（退職給付引当金 増）
- ・情報処理環境設備一式の新規リースにより増加（長期リース債務 増）

流動負債合計 2億4,300万円（対前年度△2,100万円）

【主な特徴】

- ・情報処理環境設備一式の新規リースにより増加（リース債務 増）
- ・科学研究費助成事業等預り金の減少（その他 減）

③ 純資産の部《34億5,500万円（対前年度＋1億9,000万円）》

【主な特徴】

- ・令和5年度 資産見返負債の廃止に伴う前中期目標期間繰越積立金の増加及び当期総利益の減少（利益剰余金 増）

2 損益計算書の概要

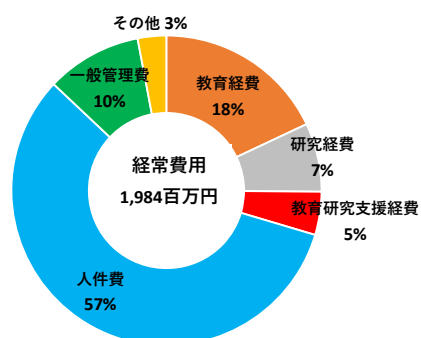
損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）に属する全ての費用と収益を記載した本学の運営状況を表すものです。

(単位：千円)

		令和6年度	令和5年度	前年度比
経常費用	業務費			
	教育経費	355,971	332,423	23,548
	研究経費	142,677	135,464	7,213
	教育研究支援経費	88,887	90,205	△ 1,318
	受託研究費・共同研究費・受託事業費等	57,946	47,645	10,301
	人件費	1,139,425	1,116,296	23,129
	業務費計	1,784,906	1,722,033	62,873
	一般管理費	198,004	186,067	11,937
	財務費用	1,326	1,062	264
経常費用合計①		1,984,236	1,909,162	75,074
経常利益③（②－①）		270,217	430,396	△ 160,179
臨時損失④		6,102	0	6,102
当期純利益⑥（③＋⑤－④）		264,115	1,156,611	△ 892,496
目的積立金取崩額⑦		0	0	0
当期総利益⑧（⑥＋⑦）		264,115	1,156,611	△ 892,496

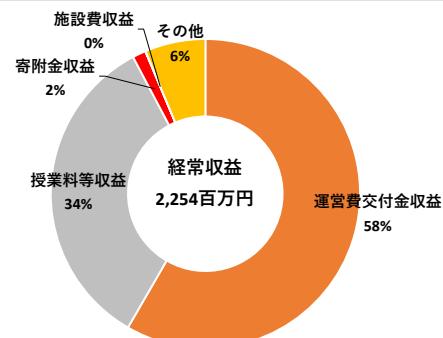
単位：十円

		令和6年度	令和5年度	前年度比
経常収益	運営費交付金収益	1,315,658	1,293,257	22,401
	授業料収益	643,170	765,449	△ 122,279
	入学金収益	99,839	98,809	1,030
	検定料収益	21,480	20,997	483
	受託研究・共同研究・受託事業等収益	80,944	66,734	14,210
	寄附金収益	31,537	35,249	△ 3,712
	施設費収益	516	0	516
	補助金等収益	1,593	2,087	△ 494
	雑益等	59,716	56,976	2,740
経常収益合計②		2,254,453	2,339,558	△ 85,105
臨時利益⑤		0	726,215	△ 726,215



経常費用の状況 (R6.4.1～R7.3.31)

経常費用（約19.8億円）は、上図のように、人件費が57%と全体の約6割を占めており、以下、教育経費（18%）、一般管理費（10%）等となっています。



経常収益の状況 (R6.4.1～R7.3.31)

経常収益（約22.5億円）は、上図のように、運営費交付金収益（58%）と授業料等収益（34%）で全体の9割以上を占めており、この2つを主な収益とする経営体となっています。

① 経常費用《19億8,400万円（対前年度＋7,500万円）》

【主な特徴】

- ・ 寄附金を活用して、能登半島地震の被災学生に対する支援
- ・ 各キャンパスの設備充実
（末広CA 学生用ロッカーの全更新、栗津CA 学生食堂の設備更新等）
- ・ 大学院後期博士課程の新設に伴う教育経費の増加
（大学院生及び留学生に対する奨学金の支給増）
- ・ 生産システム科学部の一般選抜（前期日程）に名古屋試験場を新設
- ・ インフラ長寿命化計画に基づく末広・栗津CAの屋根漏水の修繕（4ヶ所）

② 経常収益《22億5,400万円（対前年度△8,500万円）》

【主な特徴】

- ・ 令和5年度、末広キャンパス 研究実験棟の建設に係る経費の繰越しにより、財源となる令和4年度の授業料債務の収益化がなされ、授業料収益の増加（1億3,300万円）

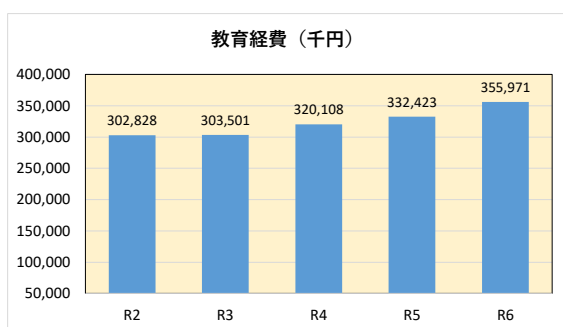
③ 当期純利益《2億6,400万円》

（経常収益－経常費用）＝経常利益（当期純利益）は、2億7,000万円となり、臨時損失を含める当期純利益（当期総利益）は2億6,400万円

本表について

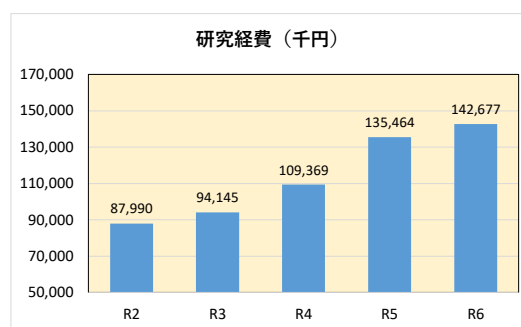
公立大学法人の本務は教育研究活動であるため、利益の獲得を目的とはしておらず、損益均衡が会計制度の原則となっていたが、令和5年度の公立大学法人会計基準の改訂で、運営費交付金や寄付金による固定資産取得時の会計処理が変更になり、資産見返負債の原則が廃止され、損益均衡を行わなくなるため、単年度の損益の増減に影響が出てきます。減価償却費と資産取得費のバランスにより損益の変動につながります。

主要経費の年度推移



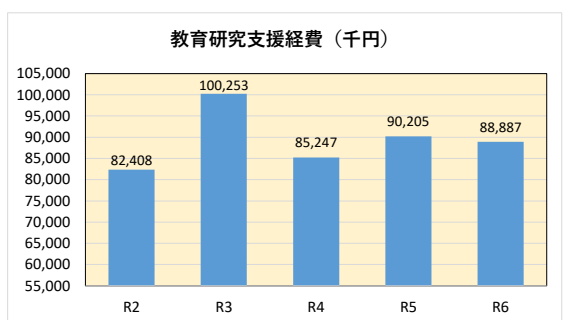
【教育経費】

本法人の業務として学生等に対し行われる教育に要する経費



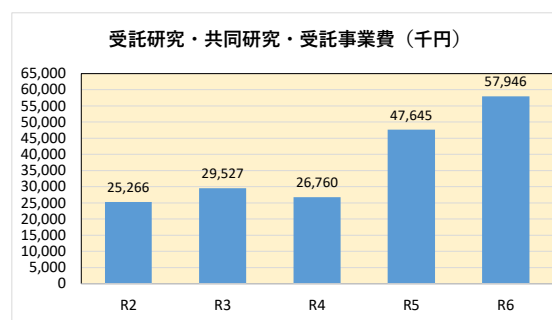
【研究経費】

本法人の業務として行われる研究に要する経費



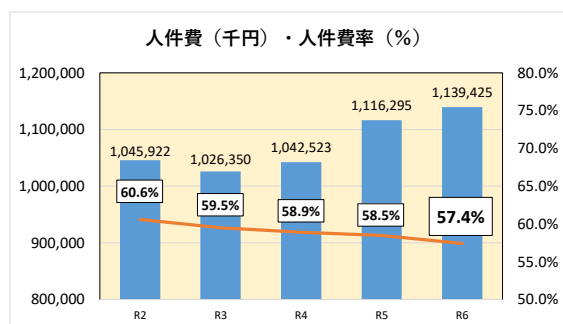
【教育研究支援経費】

法人全体の教育・研究の双方を支援するために設置している附属図書館及び情報管理等に要する経費



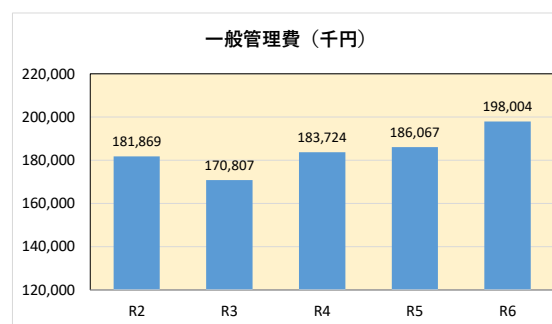
【受託研究費・共同研究費・受託事業費等】

受託研究・共同研究及び助成金事業並びに受託事業等の実施に要する経費



【人件費】

本法人に係る役員、教員、職員人件費



【一般管理費】

本法人の業務として行われる一般管理に要する経費

《参考》他の公立大学における人件費率

- ・ 公立大学平均（R6予算） 59.2%
- ・ 類似7大学平均（R5決算） 60.9%

※抽出条件： 2～4学部の公立大学、2～3学部の場合は2学部が本学と同等学部
4学部の場合は3学部が本学と同等学部

3 キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を表すものです。

(単位：千円)

			令和6年度	令和5年度	前年度比
業務活動によるCF	資金増	運営費交付金収入	1,315,658	1,293,257	22,401
		授業料収入	577,477	572,166	5,311
		入学金収入	99,839	98,809	1,030
		検定料収入	21,480	20,997	483
		受託・共同研究・受託事業収入	80,636	55,482	25,154
		補助金等収入	2,087	1,560	527
		寄附金収入	13,879	10,221	3,658
		その他	31,727	74,600	△ 42,873
		小計	2,142,783	2,127,092	15,691
	資金減	原材料、商品又はサービスの購入による支出	610,098	580,819	29,279
		人件費支出	1,106,135	1,063,617	42,518
		その他	20,615	19,441	1,174
		小計	1,736,848	1,663,877	72,971
業務活動によるキャッシュ・フロー ①		405,935	463,215	△ 57,280	
投資活動によるCF	資金増	利息及び配当金の受取額	2,145	19	2,126
		定期預金の払戻による収入	700,000	400,000	300,000
		施設費による収入	516	0	516
		小計	702,661	400,019	302,642
	資金減	固定資産取得による支出	50,165	220,441	△ 170,276
		投資有価証券の取得による支出	299,993	50,000	249,993
		定期預金の預入による支出	700,000	750,000	△ 50,000
		小計	1,050,158	1,020,441	29,717
	投資活動によるキャッシュ・フロー ②		△ 347,497	△ 620,422	272,925
財務活動によるCF	資金減	リース債務の返済による支出	49,099	45,959	3,140
		利息の支払額	1,327	1,171	156
	財務活動によるキャッシュ・フロー ③		△ 50,426	△ 47,130	△ 3,296
資金増加額 ④ (①+②+③)		8,012	△ 204,337	212,349	
資金期首残高 ⑤		880,842	1,085,179	△ 204,337	
資金期末残高 ⑥ (④+⑤)		888,854	880,842	8,012	

本表について

- ・業務活動によるCFは、通常の業務活動に伴う資金の動きを表します。
- ・投資活動によるCFは、将来に向けての投資状況を表します。
- ・財務活動によるCFは、資金調達に関する資金の動きを表します。

4 決算報告書の概要

市における会計認識基準（現金主義）に準じ、公立大学法人年度計画における予算と執行状況を対比して表すことにより、公立大学法人の運営状況を報告するものです。

（単位：千円）

		令和6年度			令和5年度			前年比	
		予算額	決算額	差額 (決算－予算)	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	予算額	決算額
収入	運営費交付金	1,309,000	1,315,658	6,658	1,295,690	1,293,257	△ 2,433	13,310	22,401
	学生等納付金	695,250	704,939	9,689	739,410	697,258	△ 42,152	△ 44,160	7,681
	授業料・実習費	568,300	577,331	9,031	603,067	572,166	△ 30,901	△ 34,767	5,165
	入学料	95,400	99,839	4,439	105,045	98,809	△ 6,236	△ 9,645	1,030
	入学検定料	26,400	21,480	△ 4,920	26,370	20,997	△ 5,373	30	483
	その他	5,150	6,289	1,139	4,928	5,286	358	222	1,003
	受託研究等収入	31,000	86,236	55,236	25,369	73,416	48,047	5,631	12,820
	受託・共同研究等収入	11,000	36,283	25,283	8,000	33,390	25,390	3,000	2,893
	寄附金収入	20,000	49,953	29,953	17,369	40,026	22,657	2,631	9,927
	補助金	2,000	1,593	△ 407	2,000	2,087	87	0	△ 494
	財務収入・雑収入	43,650	59,081	15,431	27,531	51,690	24,159	16,119	7,391
	施設整備費補助金	0	516	516	0	0	0	0	516
収入計	2,080,900	2,168,023	87,123	2,090,000	2,117,708	27,708	△ 9,100	50,315	
支出	業務費	1,657,919	1,509,631	△ 148,288	1,682,000	1,513,667	△ 168,333	△ 24,081	△ 4,036
	教育研究経費	360,419	294,033	△ 66,386	392,000	334,554	△ 57,446	△ 31,581	△ 40,521
	受託研究等費	27,000	75,566	48,566	23,000	61,343	38,343	4,000	14,223
	人件費	1,270,500	1,140,032	△ 130,468	1,267,000	1,117,770	△ 149,230	3,500	22,262
	一般管理費・財務費用	422,081	374,230	△ 47,851	408,000	366,323	△ 41,677	14,081	7,907
	施設整備費	0	0	0	0	124,067	124,067	0	△ 124,067
	支出計	2,080,000	1,883,861	△ 196,139	2,090,000	2,004,057	△ 85,943	△ 10,000	△ 120,196
収入－支出		900	284,162	283,262	0	113,651	113,651	900	170,511

【予算額と決算額の差異について】

（収入）

- ・受託研究等費収入（55,236）……受託研究等の獲得実績の増加（15件⇒28件）による。
- ・財務収入・雑収入（15,431）……債券及び定期預金への運用増から利息の増加、ならびに受託研究等の獲得件数増による間接経費の増加により、予算額に比して決算額が増加。
- ・施設整備費補助金（516）……能登半島地震によって被害を受けた末広キャンパスの建物等の補修修繕のため小松市より施設整備費補助金として全額補助。

（支出）

- ・教育研究経費（△66,386）……奨学費（授業料減免等）の費用計上分が予算額に比して決算額が減少。
- ・受託研究等費（48,566）……受託研究等の獲得実績の増加により、予算額に比して決算額が増加。
- ・人件費（△130,468）……退職と新規採用の給与差、年度途中の退職者、及び育休・病休等休職職員による減少。
- ・一般管理費・財務費用（△47,851）……光熱費が予算時試算より値上がり幅が小さかったこと、委託事業の長期継続契約の推進など経費削減に努め、予算額に比して決算額が減少。

【決算額に係る前年度との増減理由について】

（収入）

- ・受託研究等費収入（12,820）……受託研究等の獲得実績の増加（22件⇒28件）により、前年度に比して増加。
- ・財務収入・雑収入（7,391）……科研費等の間接経費の増加、債券及び定期預金の利息が増加したことにより、前年度に比して増加。

（支出）

- ・教育研究経費（△40,521）……令和5年度、末広キャンパス研究実験棟の完成に伴う備品・研究機器の購入に多額の費用を要した。
- ・受託研究等費（14,223）……受託研究等の獲得実績の増加により、前年度に比して増加。
- ・施設整備費（△124,067）……末広キャンパス研究実験棟の新設工事が令和5年度で完了により前年度に比して減少。